

随想

〈第四十三回〉

旭市20周年記念式典を終えて

市長 米本 弥一郎



旭市20周年の節目を祝う式典を、11月1日に東総文化会館で挙行いたしました。県副知事、国会議員、県議会議員、姉妹都市・近隣市町長をはじめ、ご出席いただきました皆さまに厚くお礼申し上げます。

式典では、市の発展にご尽力いただいた79名の方々を表彰し、敬意と感謝の意をお伝えしました。受賞者代表のあいさつでは、明智忠直前市長が東日本大震災からの復旧・復興までの道のりなど、在任中の出来事を振り返られており、私も市長として責任の重さを感じ、身の引き締まる思いでした。

来賓の皆さまからも、旭市がこれまで進めてきた数々の施策や、現在取り組んでいる事業について触れられました。旭市の取り組みが広く注目されていることを知り「チーム旭」の方向性が間違っていない

なかつたと実感できました。

第2部では、あさひ少年少女合唱団、旭市観光大使の椎名佐千子さん、桂竹千代さんに出演いただきました。合唱団の歌声は心が洗われるようで、明日への希望を強く感じました。椎名佐千子さんには自ら作詞したという故郷への思いをつづった楽曲を、桂竹千代さんには市の史跡や道の駅などをネタにした落語を披露していただき、お二人の地元愛が伝わるステージとなりました。

多くの方々がまちづくりのために汗を流してくださったからこそ、今日の旭市があります。20周年を機に、11月9日を「いい旭の日」として記念日に制定しました。先人が築き上げてきた「いい旭」がさらに浸透していくよう、ウェルビーイングの向上を目指して、真摯に、誠実に、全力で市政に取り組んでまいります。

図書館へ行こう

開館時間／火～金曜日：午前9時～午後7時
土・日曜日、祝・休日：午前9時～午後5時
12月の休館日／月曜日、19日(金)、30日(火)、31日(水)
岡市図書館 ☎62-2560 <https://www.library-asahi-chiba.jp/>

おはなしの時間

幼児向けの絵本の読み聞かせ
日時／6日(土)、20日(土)
午前10時30分～11時
場所／県立東部図書館3階 研修室

今月のおすすめ



「水は動かず芹の中」

中島京子 著 (新潮社)

スランプに陥った小説家は、旅先で不思議な伝承を聞く。それは、とある美しい茶わんと、豊臣秀吉の唐入りを止めた「水神」の奇想天外な物語だった。



「さよならの保険金」

額賀澤 著 (KADOKAWA)

漁師の父が海で消息を絶ち、麻海は保険調査員の叔父の下で働き始める。保険金詐欺の調査でさまざまな家族の生死に触れるうちに、父の死を受け入れていく。

新着図書

- | | | |
|-----------------------------|--------------------------|-----------------------|
| ● 紙の上の展覧会
(国文学研究資料館) | ● 痛いところから見えるもの
(頭木弘樹) | ● 神さまショッピング
(角田光代) |
| ● 考古学の黎明
(小茄子川歩、関雄二) | ● 小泉八雲のレシピ帖
(小泉八雲) | ● スカーフェイク
(霞流一) |
| ● 参勤交代のお勘定
(久住祐一郎) | ● 読む昭和の名曲63
(松井信幸) | ● 命の横どり
(久坂部羊) |
| ● 地経学とは何か
(鈴木一人) | ● 童話作家のアイウエオ
(藤田のぼる) | ● 梧桐に眠る
(澤田瞳子) |
| ● 検事の本音
(村上康聡) | ● みちゆくひと
(彩瀬まる) | ● 天上の火焰
(遠田潤子) |
| ● 深海の地図をつくる
(ローラ・トレザウェイ) | ● おにたるかつぱ
(戌井昭人) | ● あやかしたち
(畠中恵) |
| | ● 真珠配列
(岩井圭也) | ● 在る。
(前川ほまれ) |
| | | ● 口訳太平記
(町田康) |
| | | ● デモクラシーのいろは
(森絵都) |